

令和元年度

事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

社会福祉法人 勸修福社会

令和元年度 勸修福祉会事業報告書

I. 法人本部の事業報告

1) 基本方針

- ・ 公益性・非営利性といった社会福祉法人の自覚を持ち、初代理事長の法人創設の想いである社会還元の精神で地域社会に貢献するため、各事業所が地域の社会資源として評価されるよう連携し、地域に根ざした法人運営を行っていく。
→ 基本方針や法人理念の徹底のため、創設の想い及び理念の唱和を定期的に行い、徹底を図るとともに新人研修においても基本方針や理念の説明や徹底を行った。
- ・ 昨年度に引き続き、介護報酬改定による収入減少を事業所間の連携で稼働率を上げ、法人全体の収支が黒字になるよう努力する。
→ 勸修地域包括、かんしゅうケアプランセンターはおおむね黒字であったが、長楽園、勸修デイ、寛ぎの人員費の高騰により赤字となり全体でも赤字決算となり目標を達成できなかった。
- ・ 法人として職員の確保、育成、定着に向けた体制整備を強化していく。
→ 職員の確保が難しく、派遣職員で不足分を補ったため人件費を圧迫した。また、育成についても未経験者の育成に課題が残った。

2) 重点目標

- ・ 利用者や地域より高い評価を得られるよう質の高いサービスの提供に職員一丸となって取り組む。
→ 地域参加の取組を積極的に行い一定の評価を得られたと思う。また、他の事業所からも勸修福祉会の事業所は安心できると一定の評価を受けられた。
- ・ 各事業所の掲げた稼働率の達成と各事業所間の連携強化により収益率の黒字化を目指す。
→ 法人全体で赤字決算となり目標を達成できなかった。
- ・ 職員が定着できるように働きやすい環境づくりを行う。
→ 職員の体制不足で、未経験の採用者に対して育成する余裕がなく定着させることができなかった。
- ・ 地域の社会福祉に貢献すべく各事業所において取り組みを行う。
→ 地域貢献については各事業所とも積極的に取り組むことができた。

3) 事業報告

(1). 各事業所の運営

- ① 介護老人福祉施設特別養護老人ホーム 長楽園の運営
(診療所運営含む)
- ② 短期入所生活介護事業所特別養護老人ホーム 長楽園の運営
(予防含む)
- ③ 居宅介護支援事業所かんしゅうケアプランセンターの運営
- ④ 通所介護事業所京都市勸修老人デイサービスセンターの受託運営
(予防含む)
- ⑤ 京都市勸修地域包括支援センターの受託運営
- ⑥ 小規模多機能型居宅介護事業所寛ぎの家勸修の運営

(2). 役員会の開催

会議	開催日	出席者数	議案
理事会(第152回)	5月29日	8名 (内監事2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告の承認に関する件 ・平成30年度決算の承認に関する件 ・理事長の職務執行状況の報告に関する件 ・社会福祉充実計画に関する件 ・次期役員(理事・監事)の選任に関する件 ・賃金規程の一部改正に関する件 ・長楽園屋上給湯管用膨張水槽の取替及び配管改修緊急工事の承認に関する件
理事会(第153回)	6月21日	8名 (内監事2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選出に関する件 ・理事長職務代理者について
理事会(第154回)	12月11日	8名 (内監事2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の令和元年度上半期の職務執行状況の報告について ・就業規則の一部改正の承認に関する件 ・賃金規程の一部改正の承認に関する件 ・非常勤職員就業規則の一部改正の承認に関する件 ・介護職員等特定処遇改善加算の支給方法に関する件 ・職員採用時の格付け誤りに伴う特別改善積立金の取崩しについて

理事会(第155回)	3月23日	8名 (内監事2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度収支補正予算案の承認に関する件 ・令和2年度事業計画案の承認に関する件 ・令和2年度当初予算案の承認に関する件 ・就業規則の一部改正の承認に関する件 ・非常勤職員就業規則の一部改正の承認に関する件 ・賃金規程の一部改正の承認に関する件 ・介護職員等特定処遇改善加算の支給方法に関する件 ・貯湯タンク修繕及び配管修繕に関する件
評議員会(第49回)	6月19日	9名 (内監事2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告の承認に関する件 ・平成30年度決算の承認に関する件 ・任期満了に伴う理事及び監事の選任に関する件
監事監査	5月21日	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告について ・平成30年度決算報告について ・理事の業務執行状況について

(3). 役員の改選

- ・理事、監事の改選。第49回評議員会において選任。理事6名、監事2名全員重任

(4). 理事長の選任

- ・第153回理事会において津田理事長を再任。

(5). 職員の異動状況

	介護職員		看護職員		相談員及びケアマネジャー		その他	
	採用	退職	採用	退職	採用	退職	採用	退職
常勤	4名	5名	2名	2名	0名	0名	2名	0名
非常勤	8名	4名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(6). 各種表彰

① 永年勤続表彰

- 20年勤続表彰(1名) … 河邊未来世(寛ぎの家勧修)
- 10年勤続表彰(2名) … 飯島友美(長楽園)・西井佳江(勧修デイ)
- 5年勤続表彰(6名) … 並河久美(長楽園)・石田大樹(長楽園)・三井田愛(長楽園)・高田佳子(長楽園)
横田治(かんしゅうケアプランセンター)・前田恵子(勧修包括)

(7). 法人内の研修体制の充実

- ・法人内に法人研修委員会を設立し各事業所より委員を選任するとともに研修の充実を図る。
- 課長会議において、法人内研修の企画立案し下記のとおり開催した。
 - ・法人内新人研修 4/29 講師:伊藤課長
 - ・法人全体研修 12/12 メンタルヘルス研修 介護労働安定センター
 - ・法人リーダー・管理職研修 2/18 講師:彩社会福祉士事務所 坂本 彩氏
 - ・資格取得支援講座の開催

(8). 地域貢献の取組み

- ・地域交流サロン「ぼかぼかサロン」の実施(年6回)(地域高齢者の居場所づくり)
- ・鍵預かり事業(一人暮らし高齢者の鍵預かり事業)
- ・小中学校への体験授業・出前授業の実施
- ・山科区市老協地域貢献プロジェクトへの参画
- ・京都DWATへの参画(災害時への備え)
- ・地域周辺の美化活動(地域のごみ拾い月2回実施)

(9). その他

- ・法人総会の開催…京都タワーホテルにて4/29に開催。

Ⅱ.各事業所の事業報告

1.社会福祉事業

(1)特別養護老人ホーム 長楽園(長期入所・短期入所)

1)基本方針

- ① 利用者一人ひとりの人格を尊重した介護サービスを提供し、『一人の人間としての尊厳』を守っていく。
 - 認知症の方の対応や夜勤帯における対応など、職員により差があるのが現状。人格を尊重したケアの統一に向け、今後も継続した取り組みを行っていきたい。
- ② 利用者一人ひとりが抱える困難性を理解し、想いやりと誠意を持った対応に努める。
 - 重度化の進行にともない、寝たきり重度のご利用者への尊厳などを考える機会が多かったものの、過剰介護に陥ったり身体介助を重視したりする部分があり、生活援助や自立支援の大切さへの気付きや理解に繋げる仕掛け作りが必要。
- ③ 人材確保と人材育成の充実を図り、各階層に合わせた研修プログラムの構築を行う。
 - 外部研修や内部研修の充実を図ることができた。内部研修では職員自ら学び、教えることに着眼点を置き実施。ケアの統一など一定の成果は上げているが、研修プログラム確立や職員の定着には継続した取り組みが必要。
- ④ 職員一人ひとりが法人理念を理解した上で、社会的役割を認識し、地域福祉の拠点としての役割を果たしていく。
 - 虐待措置入所や高齢者虐待シェルター確保事業の受託など高齢者の権利擁護に努めると共に、近隣小学校との交流や鍵預かり事業の受託など、社会的役割を意識した取り組みを継続することができた。

2)重点的な取り組みに対する成果及び評価

・長期入所者に合わせて短期入所者も重度化・高齢化が進み、廃止もしくは他サービス移行ケースが続いたことで、短期の新規獲得に苦戦。長期入所についても下半期に退所ケースが重なり、入所案内に時間を要するケースも発生。これまで一人の相談員で行っていた待機者状況の調査を、短期相談員とで行いスムーズな入所調整と待機者からの短期新規利用者の獲得に向けた取り組みを行うも、挽回できず年間の合計稼働率 97.4%(長期 98.2%短期 88.2%)と今後も取り組みの継続が求められる結果となった。

・経費削減に向けた取り組みとして、消耗品の納入業者や商品の見直しを行い、長楽園において年間 316,220 円の削減。オムツについても業者と一体となり使用方法の見直しを行い、年間 410,234 円の削減。単年度で 726,454 円を削減できたが、一方で利用者の重度化対応や見守り対応にともなう、人員体制

の強化により人件費がかさみ、赤字となる結果となった。

- ・ファーストステップ研修に合わせて、認知症実践者研修への職員参加・他施設との介護技術研修への参加など、それぞれの階層に適した外部研修への積極的参加が行えた。
- ・介護職員が主体となったのポジショニング研修や業者に講師依頼を行い、排泄介助の基本技術研修など事業所内研修も行うことができ、全体のケア向上に役立てることができた。
- ・常勤の介護職員として5名を採用。1名については、病気療養にて退職したものの、残り4名については勤務継続しており、定着に向けて取り組み中。
- ・重度化が進み疲弊する職員が続出するなかで、介護職員の業務整理と合わせて、シルバー人材や学生アルバイトを採用・活用することで、職員負担の大きかった早朝や夜間帯における、職員負担の軽減に努めることができた。

3) 行事・取り組みの報告

利用者関係

その他(研修等)

月 日	行事名	行事内容
4月	花見散歩	勸修寺参道・山科川沿道など全利用者が参加
	家族会総会	家族会会員15名が出席(21日)
	個別外出(外食企画)	寛ぎの家勸修:寛ぎの家元利用者3名が参加(23日)
	法人開設記念行事	(一部)食事会
5月	個別外出(外食企画)	ラーメン横綱(7日)
	菖蒲湯	菖蒲湯(2日~4日 計3日間)
	遠足レクリエーション	動物園・園内レストランにて昼食・家人1名参加(14日)
	介護技術研修	テーマ:正しいポジショニングについて(16日)
	個別外出(外食企画)	MOMOテラス:ペットカフェ(21日)
6月	個別外出(外食企画)	くら寿司醍醐店・家人2名参加(24日)
	寺西幼稚園友愛訪問	園児24名による歌や楽器の演奏披露(8日)
	遠足レクリエーション	京都水族館(18日)
	個別外出(外食企画)	ジャンボカラオケ広場山科店・家人1名参加(20日)
7月	七夕	園内や居室に笹を設置、七夕の飾り付けを実施
	ドライブレクリエーション	祇園祭り鑑賞(15日)
8月	個別外出(一時帰宅)	自宅への一時帰宅レクリエーション(14日)
	合同慰霊祭	佛光院住職による読経、法話(14日)
9月	ドッグセラピー	ポメラニアンなど4匹の犬と触れ合う(29日)
	ぶどう狩り	恒例の園内の模擬棚によるぶどう狩り(5日)
	次世代の担い手育成事業	大宅小学校4年生児童6名の取材及び職場体験 24日と26日の2日程にて、合計12名受け入れ。
	長楽園祭り	カキ氷 ヨーヨー 輪投げ くじ引き等の出店(21日) 友愛訪問については、雨天にて中止となる。
10月	長楽園消防訓練	夜間想定(訓練終了後、消火器訓練あり)(27日)
	個別外出(外食企画)	がんどMOMOテラス店・家人1名参加(4日)
	介護技術研修	テーマ:排泄ケア勉強会(16日)
	園内運動会	3種目競技、中庭にて開催(17日)
11月	勤修寺神輿祭り	今年度より神輿巡航の際に、接待品を提供。利用者 と地域住民との交流の場にも(20日)
	小野小学校音楽発表会	小野小学校にて、利用者2名参加(1日)
	遠足レクリエーション	京都府立植物園・家人1名参加(5日)
	個別外出(映画鑑賞)	イオンモール京都にて、ジェミニマン鑑賞(13日)
12月	介護の日記念事業	かいご みらい フェスに家族会会長が登壇(17日)
	法人全体研修	テーマ:ストレスマネジメント-セルフケア講座-(12日)
	義士祭 行列見学	沿道より鑑賞、利用者4名参加(14日)
	冬至	ゆず湯(19日~21日 計3日間)
1月	クリスマス会	サンタクロースからのお菓子のプレゼント(24日)
	元旦祝賀会	おせち料理にて新年を祝う(1日)
	初詣	折上神社へ(1日~3日)
	お茶会	飲み物とお菓子を楽しむ(2日)
	書初め	書初めをする(3日)
	餅つき大会	新年を祝う餅つき(家族会の協力あり・11日)
	新年会	面前にぎり寿司(15日)
2月	太神楽	獅子舞による御祓を受ける(28日)
	節分	赤鬼と青鬼が各フロアで大暴れ(3日)
	法人管理職・監督職研修	テーマ:法人リーダー研修-育ちあいの人材育成-(18日)
3月	登記こども園友愛訪問	新型コロナウイルスの感染拡大により、自粛
	醍醐保育園友愛訪問	新型コロナウイルスの感染拡大により、自粛
3月	消防訓練	新型コロナウイルスの感染拡大により、延期

- * 歌声サークル 月1回 (ボランティア)
- * お誕生日会 月1回 (第2金曜日)
- * 面前料理を毎月実施
- * KESによる地域清掃活動 月2回 (第1・第3火曜日)

(2)京都市勸修老人デイサービスセンター

1)基本方針

- ① 職員一人ひとりが使命感を持ち、自分が利用したい、家族に利用させたいデイとなるべく、理想のデイ作りを心がける。

→ 職員が少なくなったことで、各自が責任感を持って、業務を遂行するとともに、日々のミーティングで積極的に意見を持ち寄る等、チームとしての結束を強める事が出来た。毎月の会議で目標を設定することで、方向性も統一でき、理想のデイサービス作りに向け取り組んできたが、実現するまでには至らず、更なるスキルアップが課題となる。

2)重点的な取り組みに対する成果及び評価

- ・午前中、入浴以外の時間も有効活用できるように新たに映像プログラム（認知症予防・脳トレ・体操・回想法）を取り入れ、利用者自身が自発的に参加される環境作りを行うことで、少ない職員体制でも対応可能なプログラムとなった。
- ・男性利用者の増加に伴い、新たに電動麻雀卓を導入し、デイサービスに来ることへの抵抗感を減らすとともに、利用者間での交流もスムーズに行えた。今後も満足度を上げられるよう、新たなサービス内容を模索していく。
- ・短時間利用の受け入れや臨時利用等、利用者のニーズに合わせ幅広い時間帯の受け入れを積極的に行ったが、それ以上に年間欠席者数が多く、さらに新型コロナウイルスによる利用控えの影響もあり、稼働率の向上までには至らなかった。今後は登録者数を増加させ、臨時利用しやすい環境を整えていく事で稼働率の向上を目指していく。
- ・法人内事業所を含む居宅事業所との連携を強化し、すばやく受け入れできる体制を整えられた。年間廃止者数に対して新規利用者・増回利用者数が上回ったが、目標達成することができなかった。今後も積極的に法人内事業所を含めた居宅支援事業所との連携の強化を図り、利用者の獲得を徹底していくことが必要である。

3) 行事・取り組みの報告

月	行 事	実施日	外出りハビリ
4月	お花見ドライブ 季節の湯(春) だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売	4/1～ 4/8～4/20 4月23日 毎週土曜日	買い物(コンビニ) 希望日に実施
5月	季節の湯(鯉のぼりの湯) オープンテラス 炭窯ふわりパン販売 新緑散歩	4/29～5/11 実施 毎週土曜日 5/20～	喫茶ツアー(半日) 延期
6月	消防訓練 だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売	未実施 6月18日 毎週土曜日	喫茶ツアー(半日) 伊藤軒6/3～6/2 29日間実施
7月	デイ開設記念行事 七夕行事 炭窯ふわりパン販売 季節の湯(南国風呂)	未実施 7/1～7/6 毎週土曜日 延期	喫茶ツアー(半日) 伊藤軒7/4～7/9 4日間実施
8月	夏祭り 季節の湯(南国風呂) 長楽園夏祭り参加 だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売 ユースアクション受入れ 寛ぎの家勸修夏祭り参加	8/20～8/22 8/12～8/24 不参加 8月27日 毎週土曜日 希望者なし 参加	買い物(コンビニ) 希望日に実施
9月	敬老式典 炭窯ふわりパン販売 ボランティア訪問(サンテラズ) 次世代育成事業	9/10～9/16 毎週土曜日 9月14日 希望者なし	買い物(コンビニ) 希望日に実施
10月	ドッグセラピー だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売	延期 10月29日 毎週土曜日	お食事ツアー(全日) がんど寿司10/7～10/22 7日間実施
11月	紅葉ドライブ 炭窯ふわりパン販売 季節の湯(紅葉の湯)	11/25～12/7 毎週土曜日 10/28～11/9	お食事ツアー(全日) がんど寿司11/16～ 11/19 2日間実施
12月	クリスマス会 炭窯ふわりパン販売 生け花クラブ 季節の湯(ゆず風呂) 消防訓練 山科義士祭り	12/19～12/25 毎週土曜日 12月13日 12/24～12/30 12月18日 12月14日	お食事ツアー(全日)
1月	初詣 ドッグセラピー 炭窯ふわりパン販売 新春お楽しみ会	1/4～1/10 1月25日 毎週土曜日 1/11～1/17	買い物(コンビニ) 希望日に実施
2月	だいが学園ドーナツ販売 炭窯ふわりパン販売 節分行事(レクリエーションに変更)	2月25日 毎週土曜日 2/1～2/14	買い物(コンビニ) 希望日に実施
3月	消防訓練 歌を唄おうボランティア訪問 炭窯ふわりパン販売 ひな祭り行事	3月17日 訪問自粛 毎週土曜日 3/2～3/7	買い物(コンビニ) 新型コロナウイルスの影響により外出自粛

※不定期勸修小学校福祉学習受け入れ

※不定期東山総合支援学校の実習受け入れ

※不定期介護等体験受け入れ

(3)小規模多機能型居宅介護事業所 寛ぎの家勸修

1)基本方針

- ①「いつでも安心、寛ぎ(くつろぎ)の家」その人らしさを尊重し、住み慣れた地域で安心した暮らしの継続をサポートし、第二の我が家(家庭)を目指す。
→ 開設した当初から運営基本方針は変えずに実施できた。
- ② 平均利用者登録 25 名の安定した利用を達成するため新規利用者の確保及び現在登録されている利用者の体調管理をおこなうと共に感染症予防を徹底する。
→ 目標登録人数を達成することができなかったが、体調管理及び感染予防は徹底できた。
- ③ 地域包括ケアシステムへの取り組みに向けて地域、保健、医療との連携、情報交換を密におこない、ニーズの把握をおこなうと共にネットワーク構築を強化し、切れ目のないサービス提供をおこない、地域の拠点となるよう努める。
→ 積極的に地域に出向き、他機関（鍵預かり事業、他事業所の運営推進会議への参加）や地域住民とのネットワーク構築（事業所発信のイベントや町内行事への参加）もおこなえた。
- ④ 昨年度の計画を基本として見直し、家庭的な雰囲気、快適な空間、ご利用者の個々のニーズを把握し質の高いサービス提供ができるよう、チーム力強化に向けて団結力ができる事業所作りを目指す。
→ 全利用者のニーズに応えられたとは言えないが、年間計画の行事等はコロナウイルス感染拡大の影響で3月のみ実施できなかった。チーム力強化に向けての所では団結力ができたとは言えず次年度に繋げる。

2)重点的な取り組みに対する成果及び評価

- ・利用登録者平均 25 名確保はできたが、実人数平均は 24.5 名であったため目標達成とはならず、今年度は赤字の決算となった。
- ・地域との関係性も深まり、町内会議での場所の提供（事業所 1 階フロア）、イベント等に参加し顔の見える関係作りができ地域の拠点となってきていることは成果である。
- ・利用者の ADL・QOL の維持、向上に向けて個別のリハビリ支援は全利用者に対応できたとは言えず次年度への課題である。
- ・職員確保、新職員定着のための教育、研修の徹底ができなかった。
- ・職員が働きがい、働きやすさを感じられるよう働き方の改善、見直しに関して職員確保が困難で同じ職員（正職員が残務で業務を回している）に負担がかかってしまっている現状である。

- ・利用待機者はおられるも、人材不足であり求人募集中であるが応募がなく、人員配置上一日に必要な人員が必要であるため派遣職員の雇用をせざるを得ない状況であり、職員体制が整わないと新規受け入れは困難である。又、派遣職員で対応すると業務制限（単独での訪問、送迎など外勤不可）があり内勤だけの業務に偏ってしまうため、派遣職員雇用の在り方を検討する必要性があり、人件費も圧迫している。正規雇用及び常勤雇用は急務である。

Ⅲ. 行事・取り組みの報告

	事業所内行事	外出行事
4月	お花見	喫茶ツアー(再会)
5月	地域交流会 (バザー&オープンカフェ等)	新緑ドライブ、散歩 春の遠足(京都市動物園)
6月	ゲーム大会	買物ツアー(モモテラス)
7月	消防訓練 七夕行事	外出アクティビティ(がんこ寿司)
8月	夏祭り(利用者向けと地域向け)	地藏盆 カラオケ(カラオケバンバン)
9月	敬老のお祝い 家族交流会 写真展(売り出し)	個別外出ツアー(希望先)
10月	秋の運動会	区民運動会参加(小野学区) 秋の遠足(琵琶湖博物館) 勧修寺みこし祭
11月	地域との交流会 (バザー&食事会)	外出アクティビティ(和食さと) もみじドライブ
12月	クリスマス会 もちつき大会	山科義士まつり カラオケ(カラオケバンバン)
1月	元旦のお祝い 新年会	初詣 買物ツアー(アルプラザ醍醐)
2月	節分(豆まき) 消防訓練(地域合同)	外出アクティビティ(鶴喜そば)
3月	ひな祭り 写真展(売り出しのみ)	個別外出ツアー(希望先) コロナ感染防止のため中止

2.公益事業

(1)京都市勸修地域包括支援センター

1)基本方針

① 地域ケア会議を軸として、課題解決に向けた支援ネットワークの強化を目指す。

→ 個別地域ケア会議（2回）、学区地域ケア会議（7回）、圏域地域ケア会議（2回）を開催した。しかし9月以降職員が1名休職したこともあり、業務多忙のため個別地域ケア会議を多く開催することができなかった。

② 健康寿命を延ばすため、介護予防を推進する。

→ 山科・醍醐地区の地域包括支援センター保健師看護師部会として、介護予防啓発のイベントを2回おこなった。公園体操を支援し、山科区介護予防推進センターと連携した。また山科区役所と協力して口腔機能向上に関する啓発をおこなった。

③ 安心、安全な居場所等の運営等

→ 「ぽかぽかサロン」を継続した。令和2年3月開催分は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。福祉避難所については防災倉庫の設置などができた。

2)重点的な取り組みに対する成果及び評価

・山科老人クラブ女性会、百々女性会等で認知症声掛け訓練をおこなった。また、山階南小学校4年生、勸修小学校4年生、百々小学校4年生等対象に「認知症サポーター養成講座」をおこなった。さらに山階南学区では認知症高齢者行方不明事前登録制度の研修会をおこなった。学区ごとに差はあるが認知症の周知は進んだ。

・令和2年2月開催予定であった「医療介護連携研修会」のため、「醍醐・山科主任ケアマネ部会」と醍醐・山科の医療専門職の各職種の代表と毎月打ち合わせをおこなった。令和元年12月から「京都市山科区在宅医療・介護連携支援センター」もメンバー加わった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修会は延期となった。顔の見える関係作りはできたと考える。

・勸修デイ・勸修包括・かんしゅうケアプランの職員向けに福祉避難所について研修をおこなった。また防災倉庫を設置し、災害備蓄品等を準備した。今後はより実践的なものにしていく必要がある。

(2) かんしゅうケアプランセンター

1) 基本方針

- ① 地域で暮らすご利用者、ご家族等一人ひとりの状態を把握し、希望や心身の状況に合わせて、必要なサービスを相談、調整し、安心できる在宅生活が継続できるよう支援する。
 - 年度末はコロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者や家族にも不安が広がる状況であったが、適切な情報把握と支援を行うことで大きな混乱なく支援ができたと考えている。
- ② 介護保険法の理念である“利用者の尊厳”が守られるよう適切にマネジメントを実行する。
 - 日々の職員間での情報共有に加え、週に1回の会議（支援会議）において利用者の対応への相談など、チームでの利用者支援を心掛けたマネジメントを実行できた。
- ③ ケアマネジャー（職員）個々の専門性を活かし、協議、検討をしながら相談業務にあたり、“利用者の自立支援”につながるようケアマネジャー自身の資質向上を目指す。
 - 昨年度に引き続き部署内の事例検討会を実施するなど、意欲的に資質向上への取組を継続することができた。
- ④ 法人内他事業所との連携の中核になり、ケアマネジャーの専門性や情報を共有できるよう努める。
 - 資格取得支援における講師を今年度も行い、合格者を輩出することにもつながった。法人内他事業所とも研修や会議、祭りの手伝いなど様々な形で連携した一方、山科区のケアマネジャー不足を受け、新規相談を多くいただいても受入過多で断らざるをえなかったのは課題である。受け入れのできる体制整備と情報共有に今後も努めていきたい。

2) 重点的な取り組みに対する成果及び評価

- ・介護保険法改正に伴い、今年度も他法人との事例検討会を計画的に開催できた。また、その取り組みを研究発表として外部発表するなど地域や社会への発信も意識した取り組みにつながられた。
- ・2月に第三者評価を実施。居宅職員全員が役割を分担し、事業所一丸となって取り組んだ過程は評価したい。一方で評価自体は厳しい意見も複数いただき、来年度以降の運営に反映させたい。
- ・事業所として中期計画を作成。2年～3年間の視野において居宅介護支援事業としてなすべきことを議論できたことは、職員にとって良い機会となったと考える。

令和元年度 事業報告(統計)

I 利用者年齢、介護度分布(令和2年3月31日現在の在籍利用者)

1) 年齢分布

	長期入所	短期入所	デイサービス	寛ぎの家
～69歳	1	1	1	1
70歳～79歳	7	1	15	5
80歳～89歳	23	11	37	13
90歳～99歳	21	8	14	5
100歳以上	1	0	1	0
平均年齢	87.9	85.66	84.9	83.3

2) 利用者年齢

最高年齢	101	94	103	93
最低年齢	68	67	67	62

3) 性別

男性	7	6	27	8
女性	44	15	41	16

4) 介護度分布

要支援1		0	2	
要支援2		0	9	
要介護1	0	0	11	4
要介護2	1	6	26	6
要介護3	13	7	10	6
要介護4	18	6	7	5
要介護5	20	2	3	3
平均要 介護度	元年 4.2	3.19	2.1	2.9
	30年 4	3.4	1.9	2.9

長楽園(長期・短期)、勸修デイ、寛ぎの家

II 実績の報告

1) 利用者延べ数、 1日の平均数

	長期+短期	勸修デイ	寛ぎの家		
			通い	泊り	訪問
4月 延べ	1,610	555	501	139	537
1日平均	53.7	21.3	16.7	4.6	17.9
5月 延べ	1,621	592	537	120	562
1日平均	52.3	21.9	17.3	3.9	18.1
6月 延べ	1,589	552	548	143	488
1日平均	53.0	22.0	18.0	4.7	16.2
7月 延べ	1,646	585	575	154	524
1日平均	53.1	21.7	18.5	4.9	16.2
8月 延べ	1,651	569	526	137	464
1日平均	53.3	21.0	16.9	4.4	14.9

		長期+短期	勸修デイ	寛ぎの家		
				通い	泊り	訪問
9月	延べ	1,579	576	488	116	134
	1日平均	52.6	23.0	16.3	3.9	14.5
10月	延べ	1,627	580	525	140	399
	1日平均	52.5	21.4	16.9	4.5	12.8
11月	延べ	1,543	575	514	147	358
	1日平均	51.4	22.0	17.1	4.9	11.9
12月	延べ	1,621	551	506	128	444
	1日平均	52.3	22.0	16.3	4.1	14.3
1月	延べ	1,635	523	508	118	426
	1日平均	52.7	21.7	16.3	3.8	13.7
2月	延べ	1,530	547	474	133	392
	1日平均	52.8	21.8	16.3	4.5	13.5
3月	延べ	1,606	564	460	123	387
	1日平均	51.8	21.6	14.8	3.9	12.4
合計	元年	19,258	6,769	6,162	1,598	5,415
	30年	19,180	6,848	6,048	1,738	5,940
1日平均	元年	52.6	21.8	16.8	4.3	14.8
	30年	52.5	22.2	16.5	4.8	16.3

※寛ぎの家の訪問延べ数は1日に複数回利用した場合も含める

2) 利用稼働率

		長期+短期	勸修デイ	寛ぎの家		
				通い	泊り	訪問
4月	元年	99.4%	60.9%	92.7%	66.1%	5.0%
	30年	98.1%	69.7%	89.4%	75.7%	5.6%
5月	元年	96.8%	62.6%	96.2%	55.2%	4.8%
	30年	99.5%	70.1%	89.6%	73.7%	5.4%
6月	元年	98.1%	63.0%	101.0%	68.0%	5.5%
	30年	97.0%	67.9%	92.4%	73.3%	5.4%
7月	元年	98.3%	61.9%	103.0%	70.9%	5.1%
	30年	98.6%	68.3%	96.9%	76.4%	5.6%
8月	元年	98.6%	60.2%	94.2%	63.1%	5.8%
	30年	99.2%	69.1%	98.2%	73.7%	4.7%
9月	元年	97.4%	65.8%	90.3%	55.2%	5.5%
	30年	91.8%	63.3%	90.3%	70.0%	5.3%
10月	元年	97.2%	61.3%	94.0%	64.5%	6.2%
	30年	98.2%	59.0%	97.5%	76.9%	5.1%
11月	元年	95.2%	63.1%	95.1%	70.0%	6.7%
	30年	98.8%	60.6%	90.4%	71.4%	5.8%

		長期+短期	勸修デイ	寛ぎの家		
				通い	泊り	訪問
12月	元年	96.8%	62.9%	90.6%	58.9%	5.4%
	30年	95.9%	58.6%	91.9%	70.0%	5.5%
1月	元年	97.7%	62.2%	91.0%	54.3%	5.6%
	30年	95.0%	56.0%	87.5%	50.7%	5.4%
2月	元年	97.7%	62.5%	90.8%	65.5%	6.3%
	30年	97.9%	56.7%	88.3%	46.0%	5.6%
3月	元年	95.9%	61.9%	82.4%	56.6%	6.2%
	30年	97.7%	57.9%	91.0%	56.7%	5.2%
1ヶ月 平均	元年	97.4%	62.3%	93.4%	62.4%	5.7%
	30年	97.3%	63.1%	92.0%	67.9%	5.4%

※寛ぎの家訪問稼働率は利用登録者数/利用回数(1ヶ月合計)で算出、
 以外は利用者延べ数/届出上の定員(1ヶ月合計)で算出

3) 新規利用者数

		長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
4月		2	0	5	0
5月		0	1	1	0
6月		0	1	2	0
7月		0	0	2	0
8月		0	1	1	0
9月		1	1	1	0
10月		2	2	2	1
11月		1	1	1	0
12月		2	4	4	1
1月		0	4	2	0
2月		2	2	1	1
3月		2	1	1	0
合計	元年	12	18	23(31)	3
	30年	11	18	16(25)	6
1ヶ月 平均	元年	1	1.5	1.9(2.5)	0.25
	30年	0.9	2	1.3(2.0)	0.5

4) 新規内訳

	長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
在宅からの利用	2	18	23	3
施設からの利用 (病院含む)	9	0	0	0
その他	1	0	0	0

5)廃止利用者数

		長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
4月		1	0	0	0
5月		0	1	0	0
6月		0	1	2	0
7月		0	2	0	0
8月		0	0	1	2
9月		2	5	3	1
10月		1	0	4	1
11月		2	3	0	1
12月		1	1	2	0
1月		1	1	2	0
2月		1	2	1	1
3月		1	2	1	0
合計	元年	10	18	16	6
	30年	12	7	27	7
1ヶ月平均	元年	0.8	1.5	1.3	0.5
	30年	1.0	0.6	2.3	0.6

6)廃止内訳

	長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
長期入院	0	1	4	0
施設入所	0	4	4	3
他サービスへの移行	1	6	3	0
事業所内死亡	8	0	0	0
病院内死亡	1	4	4	3
その他	0	3	1	0

7)事故報告、内訳
(行政報告分)

	長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
死亡	0	0	0	0
骨折	3	0	0	1
火傷	1	0	0	0
創傷	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0
異食	0	0	0	0
薬の誤配	4	3	0	1
財物の損壊・減出	1	0	0	1
従業員の法令違反	0	0	0	0
交通事故 加害者又は自損の場合	0	0	0	1

		長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
交通事故	被害者の場合	0	0	0	0
その他		0	0	0	0
合計	元年	9	3	0	4
	30年	7	3	0	14

8) 相談・苦情件数

		長期入所	短期入所	勸修デイ	寛ぎの家
ケアに関すること		1	0	1	2
接客に関すること		0	0	0	1
情報に関すること		0	0	0	0
金銭に関すること		0	0	1	0
制度に関すること		0	0	0	0
その他		0	0	0	0
合計	元年	1	0	2	2
	30年	3	0	0	2
うち第三者委員 報告分	元年	0	0	0	0
	30年	0	0	0	0

かんしゅうケアプランセンター・勸修地域包括支援センター Ⅲ 実績の報告

1) 利用者、新規、廃止利用者数

給付管理発生分(計画費算定分)

	勸修包括			かんしゅうケアプランセンター			
	給付管理	新規	廃止	給付管理	新規	廃止	
4月	421	13	12	118.5	0	1	
5月	420	14	15	120	5	1	
6月	418	8	10	125	4	1	
7月	427	13	4	126	1	1	
8月	415	4	16	126	4	1	
9月	414	8	9	127	1	2	
10月	416	13	11	132	6	5	
11月	408	8	16	129	1	1	
12月	409	14	13	128.5	1	2	
1月	410	14	13	130.5	4	2	
2月	426	20	4	129.5	1	1	
3月	412	4	18	132	0	5	
合計	元年	4,996	133	141	1,524	28	23
	30年	4,973	152	126	1,537	23	32

2)登録、相談、申請内容(年間総数)
給付管理発生しない方含む

	勸修包括		かんしゅうケア	
	元年	30年	元年	30年
台帳登録人数	411	428	38	38
虐待等への支援件数	50	27	2	1
成年後見制度活用支援件数	39	5	5	3
ケアマネ後方支援	8	9		
申請代行件数	384	156	7	8
区分変更件数	42	42	18	19
訪問調査件数	286	156	143	139
入院件数			63	45
退院件数			38	33

3)新規登録者内訳

	勸修包括	かんしゅうケア
家族、本人が直接相談	81	11
区役所からの紹介	6	0
包括支援センターからの紹介	3	27
近隣住民からの紹介	0	0
他のサービス事業所からの紹介	27	4
その他	16	2

4)廃止登録者内訳

	勸修包括	かんしゅうケア
長期入院	18	3
長期入所	1	6
転居	6	1
他のサービス事業所へ移行	84	4
死亡	4	8
その他	28	1

※包括における他のサービス事業所への移行件数には、要介護への等級変更に伴う事業所変更も含む

5)事故報告、内訳
(行政報告分)

	勸修包括	かんしゅうケア
死亡	0	0
骨折	0	0
火傷	0	0
創傷	0	0
	勸修包括	かんしゅうケア
誤嚥	0	0
異食	0	0
薬の誤配	0	0
財物の損壊・減出	0	0

従業員の法令違反		1	0
交通事故 加害者又は自損の場合		1	0
交通事故 被害者の場合		1	0
その他		0	0
合計	元年	3	0
	30年	6	0

6)相談・苦情件数

		勸修包括	かんしゅうケア
ケアに関すること		0	0
接客に関すること		0	2
情報に関すること		0	1
金銭に関すること		0	0
制度に関すること		0	0
その他		0	0
合計	元年	0	3
	30年	3	0
うち第三者委員 報告分	元年	0	0
	30年	0	0